

議第 80 号 令和 7 年度近江八幡市一般会計補正予算の執行に関する附帯決議

議第 80 号令和 7 年度近江八幡市一般会計補正予算(第 5 号)のうち、「自治コミュニティ活動支援事業」における「がんばる自治コミュニティ補助金」の新規事業である「自治会活性化推進事業」の執行、及び、「勤労者福祉センター施設改修事業」における「起業支援施設運営計画策定事業」の委託等に関する執行にあたっては、以下の事項を踏まえ、十分留意すること。

記

1. 自治会活性化推進事業について

1. 自治会の実態に即した柔軟な事業運営

●意欲的に取り組む自治会を支援するための事業であるが、役員任期が短期であることや、年度途中の事業申請が困難な自治会が多い実情を踏まえ、申請・審査・執行スケジュール等に柔軟性を持たせ、より多くの自治会が積極的に取り組めるように配慮すること。

2. 活動負担軽減に資する支援の明確化

●当局より実施要綱案として説明があった自治会加入促進や自治会組織活動の活性化のために取り組む事業、自治会員と地域住民との交流のために取り組む事業、地域福祉や子ども体験(多世代交流)のために取り組む事業に加え、自治会の現状を踏まえ、課題解決に寄与する役員の負担軽減や運営支援に資する取り組みも補助対象として検討すること。

3. 審査の透明性と公平性の確保

●活動実態を把握した上で採択判断を行い、審査基準・評価項目を明示し、自治会への説明責任を果たすこと。

4. 事業参加への不安払拭と支援体制の整備

●相談窓口の設置や事前説明会の開催など、自治会が積極的に安心して取り組めるよう行政としての支援体制を整えること。

5. 事業成果の検証と制度改善への反映

●事業期間中の成果や課題を定期的に検証し、自治会の意見を反映した制度改善を行うこと。

6. ICT 活用による業務効率化支援の検討

●役員の事務負担軽減が、自治会活動維持に資するため、昨年度創設された「自治会デジタル化促進事業」の適用外や上乗せ支援として、自治会の予算・決算業務に活用可能なエクセルシート等の簡易プログラムの提供や、回覧板の代替としての LINE 等の SNS 活用支援などの先進取り組みを補助対象として検討すること。

7. 事業進捗管理と議会報告

●事業の進捗管理を適切に実施し、結果について議会に報告すること。

2. 起業支援施設運営計画策定事業について

1. 事業スキームの成熟を前提とした慎重な執行

●新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）を活用するための運営計画策定事業であるが、計画策定にあたっては、整備内容、対象者、事業目的の整合性を十分に検討し、拙速な執行とならないよう留意すること。

2. 整備費の概算提示と財政的妥当性の説明

●実施設計の進捗に応じて、整備費の概算等を速やかに議会に提示し、財政負担の妥当性について説明責任を果たすこと。

3. 既存施設との連携と重複投資の回避

●産業経済部所管の「おうみはちまん生業・交流のいえ条例」で設置された「旧吉田邸」は起業支援施設であることから、連携を図り、重複投資を避けるとともに、情報共有体制を構築すること。

4. PDCA サイクルの確立と事業効果の検証

●既存施設の利用実績を踏まえ、改修後の施設運営においてPDCAサイクルを確立し、事業成果を定期的に検証・公表すること。

5. 補助金の有効活用と政策的整合性の確保

●過去に地方創生拠点整備交付金を活用して改修整備された「旧吉田邸の生業の家」、資料館整備事業で整備されたコワーキングスペース、0次予防センターのワンデイキッチンなどの起業支援の拠点利用の実績がいずれも低調であることを踏まえ、同様の失敗を繰り返すことのないよう、事業の妥当性と補助金の有効活用を厳格に検証すること。

6. 議会との継続的な情報共有と改善報告

●昨年度からの関連予算審議における質疑内容を踏まえ、運営計画策定の過程において、議会との情報共有を図り、改善状況を定期的に報告すること。

以上、決議する。

令和7年9月22日

近江八幡市議会